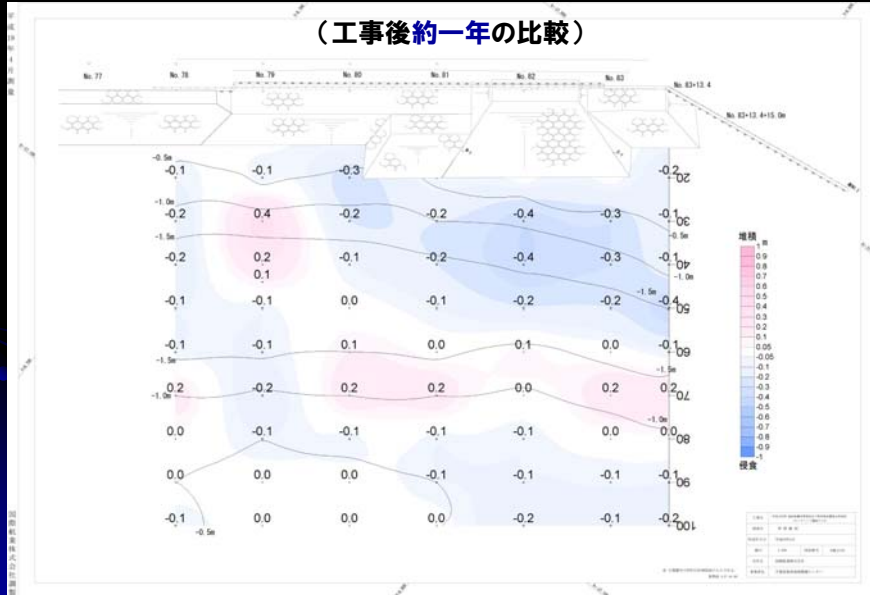


# 1 工区周辺域の面的な海底地形の変化

平成18年3月22日と平成19年9月3日(台風9号通過前)の比較

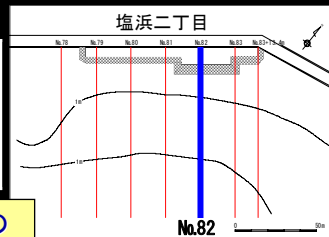
(工事後約一年の比較)



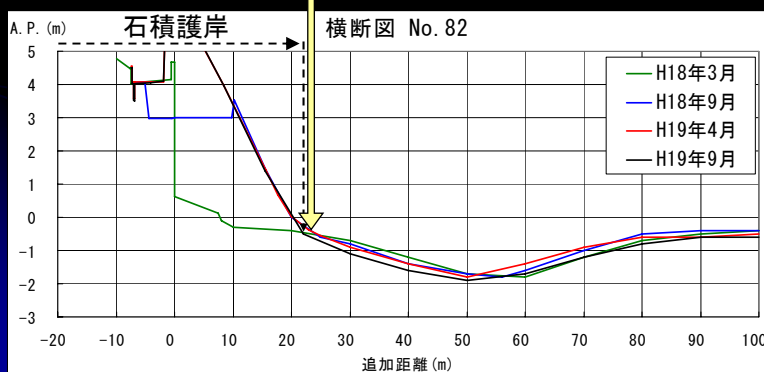
## 1-2 地形測量結果に関する検証結果

### 地形測量結果に関する検証基準

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
地形変化	施行後1年後	石積み護岸ののり先	施工前海底面に対して、±0.5m



検証箇所(のり先)における施工前と施工後一年の地形変化は、10cm以下であった。



※H19年9月は、台風9号通過前の9月3日測量結果

## 2. 底質(粒度)の状況

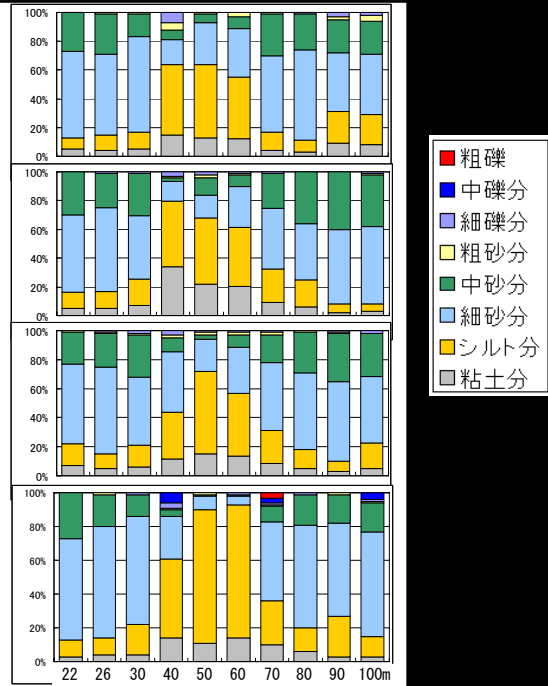
2-1 調査結果 施工前:  
平成18年4月

### 1工区

施工後約1ヶ月:  
平成18年9月

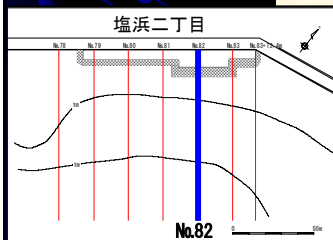
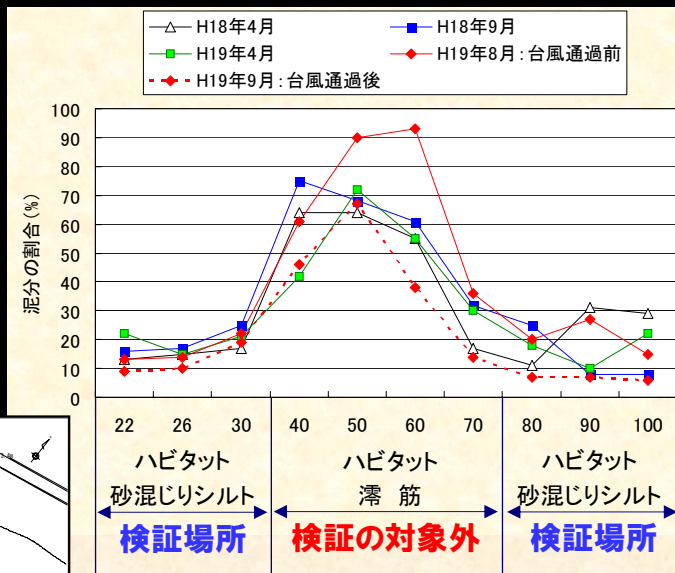
施工後約8ヶ月:  
平成19年4月

施工後約1年:  
平成19年8月



17

## 1工区における泥分の割合の変化(台風9号通過後)



※泥分は、シルト分と粘土分の割合の合計

18

## 目標達成基準2に対する検証と評価

19

目標  
達成  
基準2

周辺海底地形に洗掘等の著しい変化が生じないこと

検証  
結果

### 海底地形に関する検証基準

- 検証箇所(のり先)における施工前と施工後約一年の地形変化は、10 cm以下であり、海底地形に関する検証基準「施工前海底面に対して±50cm」を満たしていた。

### 底質(粒度)に関する検証基準

- 泥分の割合は、検証箇所である離岸距離22m~30m、及び80m~100 mでは、約10~30%までの値であり、底質(粒度)に関する検証基準「泥分の割合が40%を超えないこと」を満たしていた。

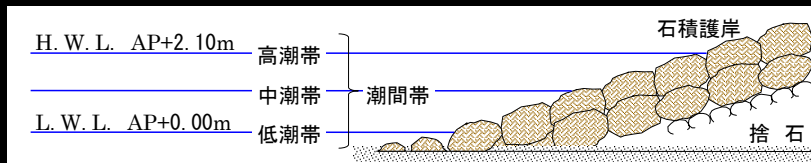
工事  
一年  
後の  
評価

海底地形、底質(粒度)ともに、季節的な変動等はみられるものの、**現在までのところ著しい変化は確認できない。**

## その他のモニタリング調査結果

### 1. 生物調査

### 1-1 2工区の状況



### 潮間帯動物の確認状況

種類数/0.25㎡

	施工前 春季 H19年4月 (直立護岸)	約1ヶ月後 夏季 H19年8月 (石積護岸)
高潮帯	7種: タテジマイソギンチャク、タマキビガイ、 カラマツガイ、ムラサキガイ、マガキ、 イワフジツボ、シロスジフジツボ	2種: マガキ、シロスジフジツボ
中潮帯	5種: 尋常海面綱、タマキビガイ、イボニシ、 マガキ、ヤドカリ類	5種: イボニシ、マガキ、シロスジフジツボ、 タテジマフジツボ、ケフサイソガニ
低潮帯	4種: アラムシロガイ、マガキ、ヤドカリ類、 ケフサイソガニ	5種: シママウネガイ、イボニシ、アラムシロガイ、 マガキ、ヤドカリ類

20

## 1-2 1工区(乱積部)の状況

### 潮間帯動物の確認状況

種類数/0.25㎡

	約1ヶ月後、夏季 H19年8月 (石積護岸・乱積み)	約1ヶ月後、夏季 H18年9月 (石積護岸・層積み)
高潮帯	<b>1種</b> : タテジマフジツボ	<b>2種</b> : シロスジフジツボ、 タテジマフジツボ
中潮帯	<b>4種</b> : マガキ、イワフジツボ、シロスジフジツボ、タテジマフジツボ	<b>3種</b> : マガキ、タテジマフジツボ、 フナムシ
低潮帯	<b>5種</b> : イボニシ、トゲアメフラシ、マガキ、 シロスジフジツボ、ヤドカリ類	<b>7種</b> : イボニシ、マガキ、 タテジマフジツボ、スジエビモドキ、 ヤドカリ類、ケフサイソガニ、チチブ

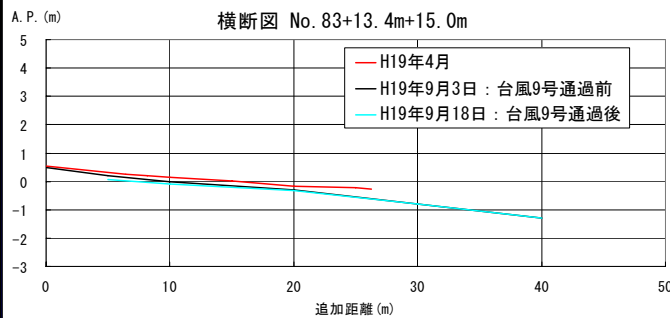
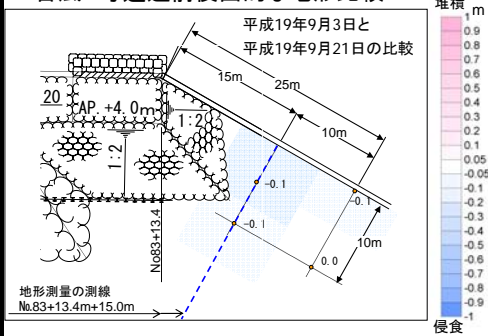
施工後約1ヶ月では、高潮帯は、タテジマフジツボのみ。  
中潮帯、低潮帯は、工事前と同水準の種類数が確認されている。

21

## 1-3 1工区、東側端部の状況(海底地形)



### 台風9号通過前後面的な地形比較



22

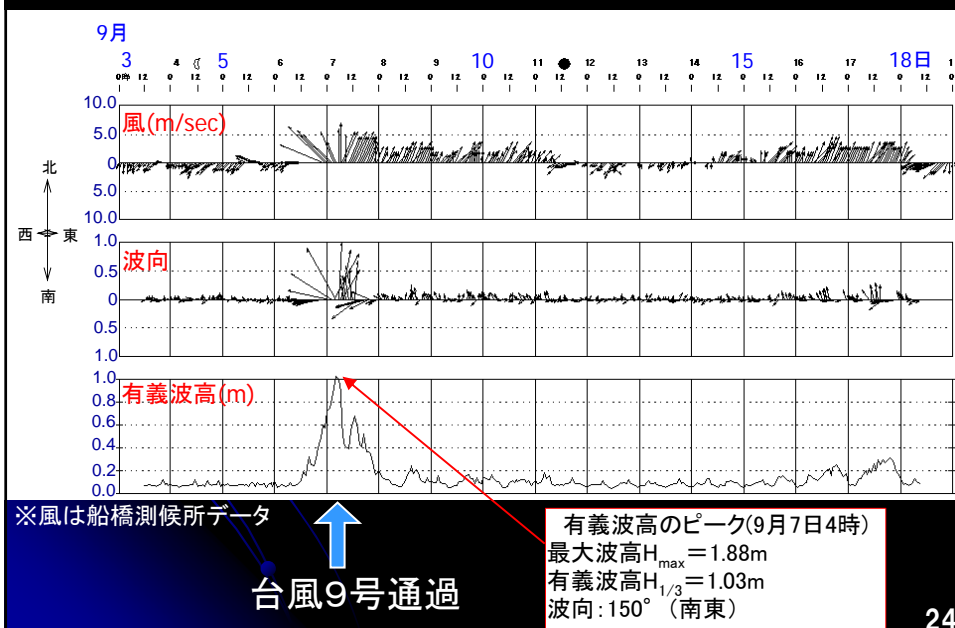
## 台風9号通過による市川海岸の状況



1工区前面から塩浜1丁目方向  
撮影:平成19年9月7日6時35分

23

## 台風通過時の波浪の状況

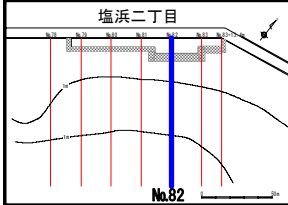


24

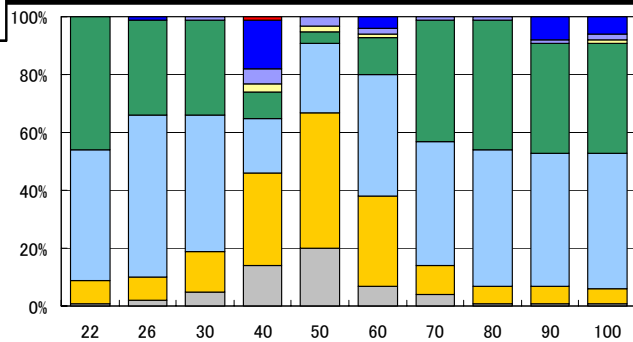
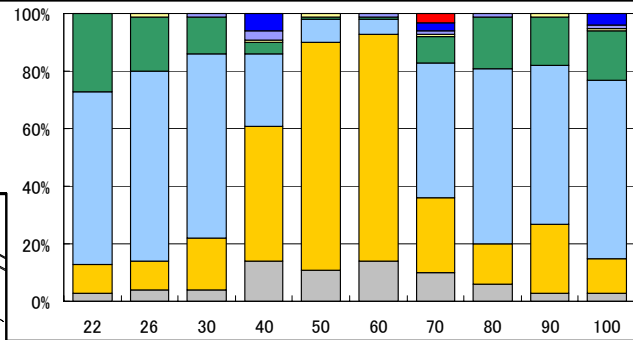
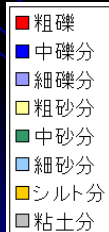
### 3. 底質(粒度)

測線No.82

台風9号通過前  
H19年8月27日

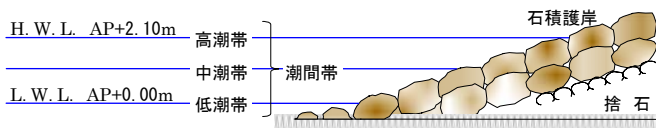


台風9号通過後  
H19年9月21日



25

### 4. 生物



台風9号通過前後の潮間帯動物の確認状況 測線No.82

	台風9号通過前 H19年8月27日	台風9号通過後 H19年9月21日
高潮帯	7種: タマキビガイ、アラレタマキビガイ、マガキ、 イワフジツボ、シロスジフジツボ、タテジマフジツボ、 フナムシ	5種: タマキビガイ、マガキ、イワフジツボ、 シロスジフジツボ、タテジマフジツボ
中潮帯	8種: タマキビガイ、イボニシ、マガキ、イワフジツボ、 タテジマフジツボ、ヨーロッパフジツボ、フナムシ、 ヤドカリ類	12種: イボニシ、マガキ、イワフジツボ、シロスジフジツボ、 タテジマフジツボ、ヨーロッパフジツボ、スジエビ属、 ヤドカリ類、ケフサイガニ、ヒライソガニ、 トサカギンボ、チチブ属
低潮帯	11種: 尋常海面綱、カンザシコカイ科、イボニシ、 アラムシロカイ、マガキ、ウスカテシオツガイ、 ヤドカリ類、ケフサイガニ、ナベカ属、 シマハゼ属、チチブ属	9種: カンザシコカイ科、イボニシ、マガキ、 ヤドカリ類、ケフサイガニ、シロボヤ、 トサカギンボ、シマハゼ類、チチブ属

26

5. 景観  
(ゴミの漂着状況等)

1工区完成断面の状況



1工区乱積み部の状況

5. 景観  
(ゴミの漂着状況等)

西側端部と同様に、東側端部でもゴミが集積している状況がみられる。



↑  
← 1工区の東側端部